# 今日は１日薩摩気分
## 第７回梅の花咲く薩摩ツアー

満開に咲いた梅園で，梅の香りと花見を楽しむ参加者

さつま町観光協会主催の「第７回梅の花咲く薩摩ツアー」が２月13日、中津川地区で開催されました。

このツアーは、鹿児島中央駅を発着する日帰りのバスツアーで、町外の方に広くさつま町を知ってもらい、交流を図ることを目的として取り組まれています。

毎年、参加者が多いこのツアーには、今年も約２００人の応募があり、抽選で84人が参加しました。

参加者は、さつま町梅振興会の駒高義久さんの梅園を訪れ、満開に咲いた梅の花の香りと花見を楽しみました。

梅の生産者が、梅園と加工センターで生育方法や加工工程などの説明をすると、参加者は興味深そうに聞き入っていました。

梅園などを見学した後は、観音滝温泉で入浴を楽しんだり、ガラス工芸館や特産品直売所で買物をしたりとツアーを満喫された様子でした。また、地元食材を使った煮しめなどの昼食も好評でした。

# 豊作願い種まき
## 葉たばこ播種式

豊作を願いながら種をまく耕作者ら

平成21年産葉たばこの種まきが１月26日、柏原の薩摩地区たばこ育苗センターで行われました。

当日は、耕作者や関係者約60人が参加して、苗の健全な生育と良質な葉たばこの安定生産を祈念し神事も行われました。

神事が終わると、耕作者や関係者は、今年の豊作を願いながら苗箱に種をまきました。

今年の栽培は、さつま町で、25戸の農家が約33haを作付する計画です。

# 生産者など90人が参加
## 町茶業振興大会

意見が交わされたパネルディスカッション

第１回さつま町茶業振興大会が１月26日、さつま農協本所で開催されました。

大会では、『茶業者が一体となりリーフ茶の「飲もう・贈ろう」を勧めさつま茶の認知向上を図る』など４つのスローガンが採択されました。

また、「産地の特徴を活かした茶づくりに向けて～消費者が本当に求めているお茶とは～」をテーマに、本町の生産者や茶商、マーケティングプロデューサーなどによるパネルディスカッションも行われました。

# 10家族29人が協定
## 家族協定調印式

家族経営協定調印式での記念撮影

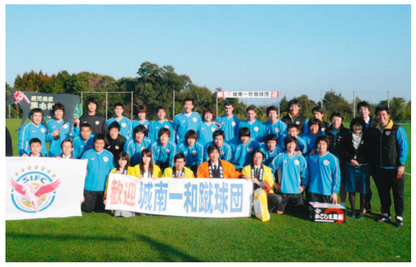
農家の家族間で経営方針や役割分担、労働報酬などの取り決めを交わす「家族経営協定」の調印式が２月５日、町役場であり、町内の10家族29人が新たに協定を結びました。

また、調印式に合わせ、山脇農園の山脇紀子さんと西山和博鹿児島県農業専門改良専門指導員を講師に招いて、経営改善・パートナーシップ推進講演会も開催されました。





# プロサッカー春季キャンプ
## 「ベガルタ仙台」「愛媛ＦＣ」「城南一和」



韓国Ｋリーグ「城南一和」の激励式での記念撮影

今年も町内でプロサッカー３チームが各日程で春季キャンプを行い、県内外から多くのファンが見学に訪れました。

各チームのキャンプインでは、町と県の合同による空港での歓迎式やそれぞれのグラウンドなどで激励式が行われ、黒毛和牛肉や黒豚肉、特産品のイチゴやトマトが贈られました。

また、８日には、ＩＧＲ京セラで「城南一和」と「愛媛ＦＣ」の練習試合も行われました。

**■ベガルタ仙台（Ｊ２）**１月27日～２月６日 インターナショナルゴルフリゾート京セラ（ＩＧＲ京セラ）

**■愛媛ＦＣ（Ｊ２）**２月２日～２月15日 かぐや姫グラウンド・北薩広域公園多目的広場

**■城南一和（ソンナム・イルワ 韓国Ｋリーグ）**２月６日～２月20日 インターナショナルゴルフリゾート京セラ

# 幅広く世代間交流
## すくすくたけのこの集い

鶴田小学校区青少年健全育成推進委員会主催の「第７回すくすくたけのこの集い」が２月14日、鶴田中央公民館で開催されました。

幼稚園から小中学生、一般に至るまで幅広い年代による舞台発表のほか、鶴田大角鷹踊り保存会による伝統芸能の披露も行なわれました。

また、出演者やスタッフの昼食として、地元農業団体や民生委員、高齢者からおにぎりやそばの提供もありました。

鶴田大角鷹踊り保存会による伝統芸能の披露

# 薩摩中央高校出身歌手
## 稼木美優さん表敬訪問

表敬訪問をした稼木美優さん

薩摩中央高校を卒業し、歌手デビューを果たした稼木美優さん（19歳）が１月28日、表敬訪問のため、役場本庁舎を訪れました。

稼木さんは、幼いころに民謡を始め、その後、ＮＨＫのど自慢チャンピオン大会で優秀賞を獲得するなどの経歴を持ちます。

今回は、昨年11月のデビュー曲「桜島（さくら）」を携えて訪問されました。

今後の稼木さんの活躍が楽しみです。

## もっとニュース

### 「若い経営者の主張大会」で優秀賞
### 堀之内酒店・堀之内力三さん

福岡ヤフードームで弁論する堀之内力三さん

全国６ブロック地区の代表が集い，青年部活動を通した地域づくりへの思いなど発表し弁論を競う「若い経営者の主張大会」が２月10日，福岡市の福岡ヤフードームで開催されました。この大会に，宮之城屋地で酒店を営む堀之内酒店の堀之内力三さんが九州・沖縄ブロック代表として出場し，「有志による地元にこだわった芋焼酎づくりが，夢と勇気，喜びを地域のみんなに与える地域ブランドの焼酎誕生につながった」と訴え，見事，優秀賞を受賞しました。堀之内さんは，この経験をもとに，家業はもちろんのこと地域の活動にも積極的に取り組んでいます。

### 女子駅伝・川薩代表で力走
### 東優里さん・岸良美周さん

力走をみせた東優里さん（右）と岸良美周さん（左）

第22回鹿児島県地区対抗女子駅伝競走大会が１月25日，霧島市隼人運動場を発着点に開催されました。県下12地区を代表して集った女性ランナーは，６区間，21．0975ｋｍで健脚を競いました。本町からも川薩チームの代表として東優里さん（薩摩中央高校２年）と岸良美周さん（宮之城中学校２年）がそれぞれ２区と３区で出走し，川薩チームを昨年順位10位から６位へと押し上げる走りに貢献しました。